



発行 伊勢崎市 0270-24-5111 FAX 0270-23-9800
〒372-8501 伊勢崎市今泉町二丁目410番地 URL https://www.city.iesaki.lg.jp
編集 広報プロモーション課 印刷 第一印刷株式会社 毎月1日発行

魅力ある高校生にインタビュー

明日へ ジャンプ

No.213

仲間と磨いたアイデア 目指すはIoT部門優勝

伊勢崎工業高等学校 2年 さとう なる美 さん



資格取得やコンテストなど、幅広い活動に取り組む佐藤さんは、未来のIoT人材を育てるプログラミング大会「ぐんまプログラミングアワード(GPA)」のIoT部門に同級生2人と一緒に出場しました。佐藤さんに、GPAへの出場を決めた理由を聞きました。

「日頃から勧められたことは積極的に挑戦しています。高校生活の3年間でできることは全てやりたいので、GPAへの出場を先生から打診された時もプログラミングは未経験でしたが、二つ返事で出場を決めました」

その後、佐藤さんたちは、大会参加者を対象としたプログラミングの基礎技術やアイデアの実現方法などを学ぶ講座に参加し、GPAに挑戦するアイデアを考案しました。

「『スマホを持っていない子どもが自転車遊びに行くところ、所在や安否が分からず心配』との話を聞き、自転車の転倒検知システムを思いつきました。そこから、子どもや高齢者などでスマホを持っていない人が自転車で転倒した際に、自動で家族に位置情報を知らせる仕組みを考案しました」



プロフィール

さとう・なるみ
料理部に所属し、部員との買い出しや調理が息抜きになっていると話す。今後も資格取得に励み、多くの資格を持つ工業高校生に贈られる「ジュニアマイスター」の称号獲得が目標。高校卒業後の進路は就職を考えている。

佐藤さんたちは、意見を出し合い形にした内容で見事ファイナリストに選出されました。最終審査に向けた研修では貴重な気づきがありました。

「専門的な内容を誰にでも伝わるように、何のためになぜこの機材を使ったのかを明確に説明した方がいい」と助言をもらいました。3人の得意分野が違うため、各々の強みを生かした役割分担の大切さに気づくこともできました」

夏休み中も、仲間と集まり最終審査に向けた準備を続けた佐藤さん。最終審査への意気込みを話してくれました。

「緊張しますが、当日は楽しみたいです。やるからには1位を目指して頑張ります」

10月23日(金)にいせさきFMで放送します ●午前7時54分～ ●午後1時25分～ ●午後5時50分～

市公式Instagramを紹介

問 生涯学習課(☎27-2793)

【公式】伊勢崎市公民館

市民の皆さんに多様な学びの機会を提供するため、公民館講座をはじめとする生涯学習の推進に役立つ情報を発信しています。



▲Instagram
タグ

今月のインフォメーション



本市の人口(2026年9月1日現在)

■人口 210,835人(前月比-32)

■世帯数 98,840戸(前月比+68)



市税の納期

市民税・県民税・森林環境税(普通徴収) 3期

国民健康保険税(普通徴収) 4期

納期限は11月2日(月)です

問 収納課(☎27-2723)